

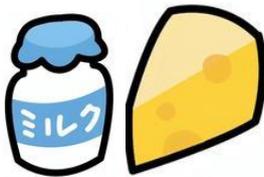
今月のテーマ

カルシウムの薬について

担当：薬剤科

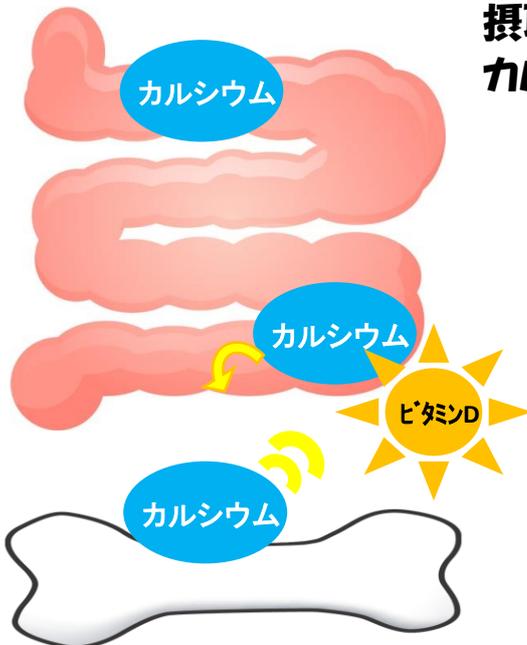
カルシウムは骨の重要な構成成分です。カルシウムが骨に取り込まれることにより、新しい骨が作られます。一方、古くなった骨は壊され、カルシウムが骨から溶け出します。このような流れが常に繰り返され、骨が新しく置きかわることにより、骨の強さが保たれています。

また、カルシウムは血液中にも存在し、血液中のカルシウムの濃度は一定の範囲内に維持され、生命の維持に必要な多くの生理作用に関与しています。



慢性的にカルシウムの摂取量が不足すると、カルシウムが骨から取り出される量が多くなることにより、骨量が減少し、骨粗鬆症になる可能性が高くなります。骨の健康のためには、十分な量のカルシウムを摂取することが必要です。

カルシウムを補う薬としてカルシウム製剤があります。



さらに、カルシウムを効率的に活用するためにはビタミンDが必要です。活性型ビタミンDは骨の材料となるカルシウムの吸収を助けたり、カルシウム摂取が不足しているときには、尿の中からカルシウムを再吸収するように働きます。また、骨へのカルシウムの沈着を調整し、骨形成を促します。

活性型ビタミンDの薬はアルファカルシドール、エルテカルシトールなどがあります。

当院にお気軽にご相談ください。

当院では、火曜日と金曜日の15:00～16:30に予約制で骨粗鬆症専門外来を行っています